



フレンドの会「手話入門講座」参加者募集

【日時】11月4日(木)～1月27日(木)全10回 10:30～12:00
【会場】鶴見中央地域ケアプラザ
【参加費】1,500円 【定員】15名
●申込先:往復ハガキに氏名・住所・TELを明記の上、
鶴見中央4-32-1 UNEXビル5階
鶴見区福祉保健活動拠点内
「フレンドの会」まで。
●締切:10月20日(水) 必着。

手話サークル 手・フレンド・鶴「手話体験講座」参加者募集

【日時】11月4日(木)～18日(木) 全3回 10:00～12:00
【会場】鶴見区福祉保健活動拠点
【参加費】500円(テキスト代含む)
【定員】20名
●申込先:氏名、連絡先(TEL・FAX)明記の上、
担当:早野(TEL/FAX03-3759-0667)まで
●締切:10月27日(水) 必着。
●その他:講座終了後希望者は入門コース有

おりづる会発足10周年記念講演会 「認知症の人と家族に寄り添うために」

【日時】10月31日(日) 13:30～15:30
【会場】横浜市鶴見公会堂1号・2号会議室
【講師】稲富 正治氏(臨床心理士・川崎幸クリニック心理相談室長)
【対象者】介護家族、認知症や介護に関心のある方、介護従事者他
【参加費】無料
【定員】90名(先着順)
●その他:講演会内容に関する問い合わせは、
おりづる会事務局浜田(TEL/FAX045-571-6960)まで

サンタ大募集! ～サンタがつるみにやってくる～

クリスマスの時期に、区内作業所などを訪問しプレゼントを配ります。
女性も歓迎。今年のクリスマス、一緒にサンタになりませんか?

【日時】
●サンタ勉強会
11月19日(金) 14:00～17:00
会場:鶴見区福祉保健活動拠点
●サンタ派遣期間:
12月1日(水)～12月25日(土)のいずれか
●締切り:10月29日(金)



区社協送迎サービス ボランティア募集

公共の交通機関を利用することが困難な高齢者、障害者の送迎ボランティアを募集。

【日時】月～土 9:00～17:00
【謝礼】500円/1回
【条件】①週2、3回以上活動が出来る方②普通免許運転歴3年以上③健康で安全な運転が出来ること④過去2年間運転免許停止処分を受けていないこと⑤登録のための講習を受けられること



鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

つるみ臨海フェスティバルに参加します

【日時】10月23日(土) 10:00～15:00
(荒天時10月24日(日)の場合は出店しません)
「麦の家」特製カメ吉パンを個数限定で販売します。お楽しみに!なお、売上は、鶴見区内で福祉活動をしている団体のために活用させていただきます。

「鶴見の空クイズ」&愛読者アンケート

図書カードを10名様にプレゼント!

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください!応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答 ②〒・住所・氏名・TEL・性別・年齢 ③福祉つるみを手に入れた場所 ④ご意見・ご感想を記入の上、11月30日(火)(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は発送をもって換えさせていただきます。

前号の正解は「②江ヶ崎跨線橋」、応募者数52人でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを!



〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5F
鶴見区社会福祉協議会
(☎)504-5619 (FAX)504-5616 Eメール:info@yturumi-shakyo.jp)

毎年10月1日から12月31日までの3ヵ月間、

北海道から沖縄まで全国いっせいに赤い羽根募金がおこなわれています。

みなさまからご協力いただいた赤い羽根募金は、地域で幅広く活用されます。食事サービス、地域作業所、

子どもたちの遊び場や特別養護老人ホームなどの福祉施設や団体の活動に生かされています。

福祉は社会に欠かせない大切なことです。いつもは気がつかないけれど、身近なところでいろいろな活動が行われています。

今年も赤い羽根募金へのご協力、よろしくお願いいたします!



じぶんの町を良くするしくみ。

福祉

つるみ 65

点字・録音版も!

【第65号】2010年10月1日発行/編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

特集◎みんなのアイデアから うまれた新しい交流の場



表紙
クイズ

ここは鶴見のどこの空?
いったい、どれだけの区民がここを利用したことでしょう...
11月30日をもって閉館です。

応募方法は4ページを
ご覧ください

①鶴見会館 ②鶴見工業高校 ③鶴見区役所

撮影者:白鳥 威 (2010年4月25日撮影)

うまれた! みんなのアイデアからうまれた新しい交流の場

気軽に寄ってお茶、おしゃべり

コミュニティサロン

鶴見ふれあい館 (豊岡商店街)

7月17日にオープンした「鶴見ふれあい館」。初めは「誰もが気軽に立ち寄ることができる場をつくりたい」というひとつの小さな「願い」から始まりました。それが、豊岡商店街にある空店舗の提供をきっかけに徐々に協力の輪が広がり、豊岡の町を挙げ、多くのボランティアの協力を得て、誕生しました。自動ドアを隔ててすぐ隣にある「麦の家」のパンとコーヒー、紅茶とおしゃべりを楽しむ人たちにぎわいます。地域作業所の作品を手にとりて買っていく人も。壁面は貸しギャラリー。写真や絵画の展示会にうってつけです。

オープニング記念パーティには地域の人が大勢やってきました(7月17日)

子どもの送迎の合間におしゃべりをするママたちの姿も見られるようになりました。今後も地域とボランティアの協力を得ながら、ちょっと一息つける場所・いつも誰かと出合える場所・みんなで使える空間・やさしい心、つながる安心そんな気持ちが芽生える場所・こどもも高齢者も障がい者も誰もが気軽に立ち寄れるアットホームな場所として、存続し活用してもらえることが切なる願いです。



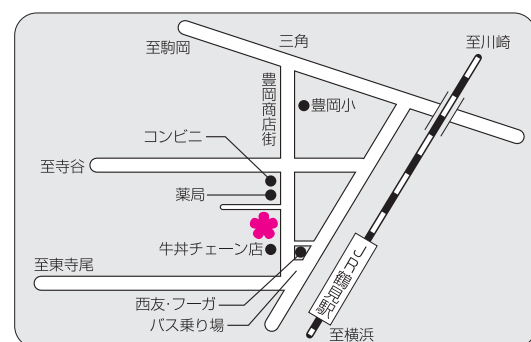
左からお話を伺った
滝沢さん、簡さん、本多さん
(鶴見ふれあい館内で)

豊岡商店街に面した鶴見ふれあい館。車庫だった建物をヨコハマ市民まち普請事業*1を通じて改装しました。隣は手作りパンの「麦の家」です。



鶴見ふれあい館 豊岡町14-27
営業時間/10:00~17:00/土・日・祝日休
電話045-582-5458

*1 市民のみなさんから身近なまちの整備に関する提案を募集し、2段階にわたる公開コンテストで選考された提案に対し、最高500万円の整備助成金を交付するものです。



おいしいパンとまち歩き

豊岡就労支援事業所*2

麦の家

「麦の家」で作られるパンは70種類。そのうち約50種類が日替わりで店頭に並び、一日で500個以上売れることも。「麦の家での経験、お客様や商店街の人たちとの交流から得た自信や仲間との絆をもとにいきいきと働き、自己実現を図ってほしい」と職員は願っています。「麦の家」に足を運び、おいしいパンを鶴見ふれあい館で食べる…これからはぜひ“味な豊岡商店街散策”を楽しんでください。

*2 就労支援事業所(=就労継続支援)とは障害者自立支援法における「障害福祉サービス」のひとつです

パンの原料、小麦の「麦」の音読みと悪い夢を食べてくれる動物の「獺(バク)」、鶴見川の形状が獺に似ていることでこの店名に。

麦の家 豊岡町14-27
営業時間/10:00~18:00
売り切れ次第閉店/土・日・祝日休
職員2人、パート5人、障がい者12人が勤務

パンなどの飲食物の製造・販売を通じ、障がいのある人がいきいきと働き、地域の中で暮らすこと、また、商店街活性化への貢献などを目的として5月13日に開店しました。

話合いを重ねて、想いが実を結ぶ

鶴見川大曲広場

駒岡5丁目地先の鶴見川河川敷を防災船着場に整備したことをきっかけに、「より多くの人たちが利用できる空間にしたい」。地域住民のこうした想いが実を結んで7月17日、鶴見川大曲広場は誕生しました。各町会から選ばれた代表が実行委員会を作り、何度も何度も会議を開いてみんなの意見をまとめました。その結果、地域防災拠点としてだけでなく、子どもがのびのびと遊べる場として、高齢者がゲートボールなどレクリエーションを通じて交流できる場として、小学校や養護学校の自然体験・環境学習の場として、多目的な機能を果たす広場となったのです。



↑ 防災船着場

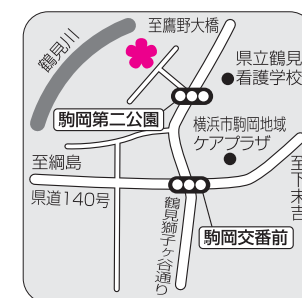


7月17日の完成記念式典には多くの人が参加し、青空の下でテープカットが行われました。

- ◆平成17年 駒岡連合町会大曲広場整備実行委員会(各町会より選出)が発足
駒岡小学校、県立鶴見養護学校、老人クラブ、消防団など地域の施設・団体から要望を聞き、整備内容を検討
- ◆平成20・21年度「ヨコハマ市民まち普請事業*1」コンテストに参加
- ◆平成22年7月17日 完成記念式典



園路わきの小さな池に飛んできたサギ(8月30日)



生麦の伝統行事「蛇も蚊も祭り」に使うススキを広場に植栽。生麦刈り取りなどを通じた鶴見川上り、地域の交流も考えています。

善意銀行寄付者

善意の寄付をありがとうございました

平成22年5月1日~8月31日 ()内は期間内の寄付回数

金銭寄付者(敬称略・順不同)

(株)ニュー・トーヨー(3)・TEPCOスクール同窓会・ヨコオヤスオ・横浜鶴見西ライオンズクラブ・岩澤夢鶴子(5)・三ツ池フェスティバル+臨海チーム・三須洋子(4)・小野泰・小野梅子(2)・上末吉婦人会・森下三二 たけ 浩志・神奈川土建横浜鶴見支部・瀬谷智明・石井英次・石井照代・中川浩康・中島明高・鶴見区更生保護女性会・東寺尾商品開発部・東芝京浜事業所 東芝労働組合京浜支部・平井洵子(4)・北寺尾7-32-1-2組・堀江重子・小野芳太郎・ファーストみうら会・生方千子・FACTORY pian・貴田米吉・匿名(8)

物品寄付者(敬称略)

高倉一子・吉兆グループ(3)・読売新聞横浜西部鶴見支部

寄付の方法 ①区社協窓口への持参(月~土 9時~17時)
②銀行振込 ★物品寄付についてもご相談ください。

振込先: 横浜信用金庫 鶴見駅東口出張所 普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 阿部 進(アベススム)

- 「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。
- 「福祉つるみ」では広告を募集しております。
- 一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。
- 次号(第66号)は、平成23年2月1日発行です。